

Plan

一人一人の笑顔が輝く楽しい四小

めざす学校像

- 1 子供が生き生きと笑顔で生活する学校
- 2 子供がすすんで学び、学力を高める学校
- 3 家庭・地域に信頼され、ともに歩む学校
- 4 教職員が生きがいをもって働く学校

～ 子供の可能性を高め、引き出す学校 ～

全ての子供を誰一人取り残さず、子供一人一人の笑顔を大切に、
子供たちの輝く笑顔を真ん中に、
保護者、地域、教員の笑顔も輝く学校にしていきます。

経営の基本方針

- 1 よいところをもっとよく(個性の伸長)
- 2 豊かな触れ合い(共に学び、遊び、働く)
- 3 確かな児童理解(一人一人を大切に)
- 4 きめ細やかな指導(個に応じた指導の工夫)

学校教育目標

Do

やさしく

自然を愛し だれとでもなかよくする子ども

なかよく

よく考え最後までやりぬく子ども

たくましく

じょうぶで元気な子ども

Action

確かな学力

- ユニバーサルデザインの視点に立った、
「力が付く授業」「学びたくなる授業」の実践
- ◎「聞くときは聞き、話すときに話し、考えるときには考える」、真剣な学習態度の育成
 - ◎「主体的・対話的」で深い学びのある授業
 - ◎言語活動の充実、協働的な学びの実施
 - ◎基礎的・基本的な学習内容の習得の徹底
 - ◎一人一台端末を活用した学習活動の充実
 - ◎「四小スポーツタイム」の実施、体力の増進
 - ◎家庭学習の習慣化(学年×10分)
 - ◎外国語教育の充実

豊かな心

- 「全力あいさつ」「全力そうじ」「全力感謝」を合言葉に、互いに気持ちよく生活する態度を育成
- ◎「ありがとう」があふれる環境づくり
 - ◎「四小生活スタンダード」を基にした生活習慣の定着
 - ◎いじめ、不登校の未然防止・早期解決
 - ◎異年齢集団の活動の充実
 - ◎道徳科の授業を中心とした道徳教育の充実
 - ◎褒め、認め、励まし、支える教育の推進
→自己肯定感や自尊感情の育成
 - ◎「四小 SNS ルール」の徹底及び、
「メディアコントロール・チャレンジ」の実施

特別支援教育

- 一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、適切な指導及び必要な支援を実施
- ◎つくし学級、ひまわり教室との連携
 - ・交流学級によるインクルーシブ教育の推進
 - ・多様な視点を生かした児童への指導
 - ◎校内委員会の設置
管理職、特別支援教育コーディネーター、SC、心理士、担任
 - ◎特別な支援を必要とする児童の把握、理解、指導、適正就学支援
 - ◎校内教育相談体制の強化とSCや各種関係機関との連携による、個々の児童・家庭への対応

特色ある教育活動

- 児童の実態、教師の強み、保護者・地域の教育力、青梅の自然環境を生かしたカリキュラムマネジメント
- ◎学力向上
 - ・朝学習の充実(四小ドリル・朝読書)
 - ・4年生以上を対象とした放課後算数教室
 - ・読書指導の充実(読書週間、図書ボランティア)
 - ◎青梅学の推進
 - ・御岳宿泊学習、社会科見学、生活科見学
 - ・野鳥観察、青梅の森、大塚山
 - ◎小中一貫の日(年3回)、
・幼保連携(かすみ保育園)の推進

地域とともに歩む学校づくり・コミュニティ・スクール

- ◎地域の担い手である子供たちを共育する過程を通して、子供、保護者、地域、教職員それぞれの“well-being”を高めていく。
- ◎学校運営協議会を通して情報共有や助言をいただき、豊富な地域の人材・教育資源を発掘し、青梅学推進のための単元開発を行う。
- ◎学校行事や授業公開等での参観の機会を確保し、学校だよりや学校ホームページ(校長日記)、学校メールを活用した情報発信を積極的に行う。

Check

児童アンケート数値目標

- ・あいさつを自分からすすんでしている
- ・掃除を一生懸命している
- ・友達と仲良くしている
- ・学習することが好きである
- ・授業はよくわかる

目標

90%以上
90%以上
90%以上
90%以上
90%以上

H6

84%
96%
97%
84%
90%

保護者アンケート数値目標

- ・基本的な生活習慣(あいさつ、掃除、時間を守る、持ち物等)やきまり
- ・異年齢集団による活動を通じた心の育成
- ・「力が付く授業」「学びたくなる授業」、基礎的な学習内容の習熟
- ・つくし学級との交流、障害に関する理解、偏見や差別のない人間関係
- ・学校公開や各種便り、ホームページなどによる積極的な発信

目標

90%以上
95%以上
85%以上
80%以上
95%以上

H6

96%
94%
82%
75%
93%

学校運営
協議会
評価